



おきなわ



作品名：「いりおもてヤマネコ」（いきいき！かりゆし美術展【特別展】）
作成者：盛山 造道さん（豊見城市）

目次

- ② **特集** 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築にあたって～社協が果たすべき役割について～
- ④ 私たち「新人職員」です（沖縄県社協・職員紹介）、生活支援員の募集（日常生活自立支援事業）
- ⑤ 児童福祉施設職員への新型コロナワクチンの早期接種等にかかる緊急要望の提出、沖縄ねんりんピック及びかりゆし美術展のご案内
- ⑥ 福祉施設・事業所での苦情受付体制の充実
- ⑦ 介護講座のご案内、社会福祉ライブラリーの紹介
- ⑧ シリーズ記事「ふくし&〇〇」第8回～ふくし&IT～ 他
- ⑨ 新規貸付事業のご案内
- ⑩ りゅうちゃん募金内定交付式、令和3年度赤い羽根共同募金運動始まります
- ⑫ インフォメーション、寄付者芳名、表紙の作者のご紹介 他

 広報紙「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部に共同募金配分金を充てております。

「地域の人々が明るくインターネットワークを築き支え合う社会」を合言葉にはじまったサンクス運動。地域社会が変動する中、支え合う社会を築く多様な活動が行われています。今号では、県社協や各種団体での取り組みや活動を紹介します。

特集

地域共生社会の実現に向けた、包括的支援体制の構築にあたっての社協が果たすべき役割について



地域共生社会の実現のため、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村段階の包括的な支援体制の構築が求められています。

国においては、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた3つの支援を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業（以下「重層事業」）」を今年度4月からはじめ、全国各地で支援体制整備に向けた動きが進められています。

県及び市町村の社会福祉協議会（以下「社協」）においては、地域福祉を推進する中核的な組織として、住民を主体とする地域福祉活動をはじめ、地域を基盤とした個別支援や地域支援を含むコミュニティ

ソーシャルワークの実践など、地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めています。

また、「THANKS（サンクス）運動」等、地域における社会的孤立の解消防止に向けて取り組んでいます。

今回の特集では、地域共生社会の実現に向けた、包括的支援体制の構築に向け、社協が果たすべき役割等についてまとめました。

なぜ「包括的支援体制」が必要なのか

地域においては、8050問題、ダブルケア、生活困窮、ひきこもり等の複合的かつ、制度の間の課題を抱える世帯や、社会的孤立を背景とした「生きづらさ」を抱える方などがいます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、人との接触機会が制限されたこともあり、きめ細かな支援が十分に行えないなど、地域の課題はますます複雑化・複合化しています。

コロナ禍により急増・急拡大した地域生活課題に対しては、社協をはじめとする各種相談支援機関は、地域関係者の連携のもと対応していく必要があります。

また、こうした課題は、支援対象者へのアセスメントのみならず、地域住民一人ひとりが課題に向き合い相互に支え合う地域づくりが必要になります。社協は、地域住民から寄せられる地域課題を受け止め、地域を基盤にして解決

につなげる支援やその仕組みづくりが求められています。

「包括的支援体制」の構築に向けた社協の役割とは

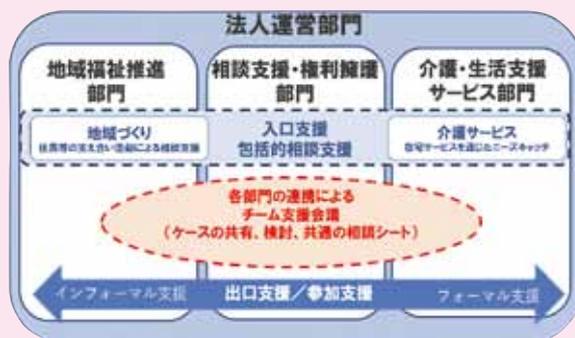
地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備については、事業の枠組みにとらわれず、社協をはじめとする専門機関や地域住民との協働も含めた包括的な仕組みが求められています。

社協の総合力による支援
～社協内の部門間連携の強化～

社協においては、総合相談や心配ごと相談をはじめ、生活福祉資金、日常生活自立支援事業、生活困窮者自立支援事業など、多岐にわたる総合相談・生活支援機能を有しています。

あらゆる地域生活課題に対応するためには、今後、社協の総合力を発揮し、事業担当者による「縦

割り」ではなく、社協内の各部門が有機的につながりながら支援を展開していくことが求められています。



社協の総合力による支援
～連携・協働の場づくり～

複雑化・複合化した地域課題への対応は、社協だけで解決できるものではなく、地域や福祉関係者と連携した支援を展開する必要があります。

社協には、これまで築い

たネットワークを活かした「協働の中核」として役割を発揮されることが期待されています。

そのためにも、日頃から、地域住民や相談支援機関、施設法人、NPO、更には福祉分野以外の幅広い関係者が、お互いの役割を理解できるような関係性を構築しつつ、ネットワークを活かした、個別ケースの検討、それぞれの力を発揮できる体制づくり「プラットフォームの構築」をしていくことが大切です。

THANKS(サンクス)運動と包括的な支援体制整備について

県社協においては、市町村社協をはじめとする関係機関の連携のもと、平成29年度から「THANKS(サンクス)運動」を展開し、社会的孤立の解消・防止に向け、住民相互の支えあい活動の推進や関係機関のネットワークにより課題を解決する仕組みづくりを進めています。

包括的な支援体制整備

で位置づけられた、身近な圏域での「地域づくり」「包括的に受け止める場」の推進や、「専門職のネットワークの構築」は、THANKS(サンクス)運動で掲げる3つの柱とも重なります。(図1)

「重層的支援体制整備事業」と社協との連携について

重層事業は、従来の支援体制では対応の難しい複雑化・複合化した課題に対応するため、市町村全体として包括的な支援体制を構築するものです。

市町村が重層事業を実施する際には、社協に委託する場合だけでなく、委託を受けない場合であっても社協と十分な連携を図った上で実施されること

が重要です。重層事業と社協との連携の具体的な内容については、社協が受け止めた相談のうち、既存の支援体制では対応が難しい場合は、本人同意を得た上で多機関協働事業につなぐこと

や重層的支援会議等への参画への協力があります。

また、地域において多様な社会参加に向けた支援を行うため、社協が取り組んできたボランティア活動の推進や住民同士のつながりの場の設置促進、見守り活動などの取り組みを共有、支援対象者が社会とのつながりをつくるための支援メニュー構築等の協力が想定されます。

また、市町村が重層事業の各種事業を進めるにあたって、これまでの行政とのパートナーシップを活かしつつ、社協の強みが活かせる連携を図ることが社協には求められています。(図2)

「包括的支援体制」の推進に向けた県社協の取り組み

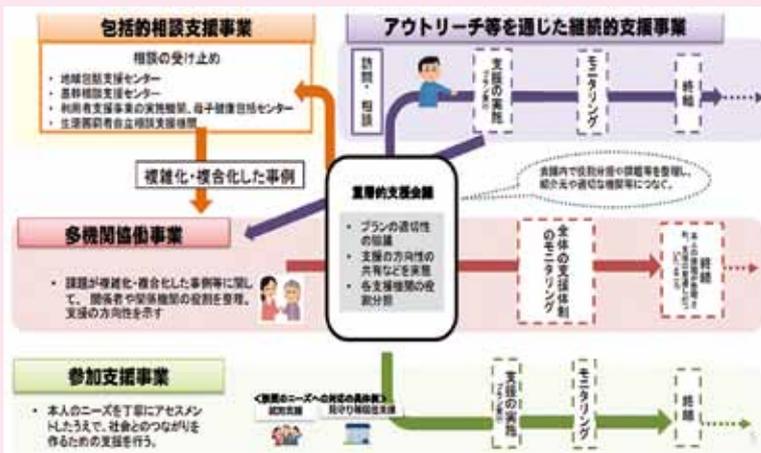
県社協では、沖縄県との連携のもと、令和3年度から「重層的支援体制構築に向けた都道府県後方支援事業(ゆいまーる事業)」を開始し、市町村における包括的な支援体制づくりの後方支援を実施しています。

具体的には、重層事業の

図1)



図2)



活用に向けた勉強会の開催や複数市町村による事業実施に向けた検討会、自治体の庁内連携等の個別支援など、市町村での包括的な支援体制づくりに向けた後方支援を行います。社協がこれまで進めてきた地域福祉活動や「THANKS(サンクス)運動」と連動した取り組みを推進していくことが重要となっています。

私たち「新人職員」です！ (沖縄県社協の職員紹介)

沖縄県社協では、令和2年度～令和3年度にかけて、新たに4名の職員が仲間入りしました。今号、次号と続きその職員を紹介します。皆様、どうぞよろしくお祈りします！

みんなで一緒に頑張っていきましょう

県社協への入職を希望した理由

県域の地域福祉に携わり自分自身で事業を動かしていきたいと思い、入職を希望しました。

現在の仕事の内容

沖縄子供の貧困緊急対策事業「沖縄県子どもの居場所ネットワーク事業」等を担当しています。

仕事をするうえで大切にしていること

日頃から大切にしていることですが、相手の話に口を挟まず最後まで聞くということです。

今後の抱負 (一言メッセージ)

先輩方のようになれるよう、一生懸命頑張ります！



山城妃那さん(地域福祉部)
令和3年4月採用



橋口卓広さん
(地域生活定着支援センター)
令和3年4月採用

県社協への入職を希望した理由

県社協で約4年間、嘱託職員として従事し、県内の様々な地域課題に向き合った経験から、今後も県民の皆さまや関係機関と協働して、地域の社会環境をより良くできるよう尽力したいと考えたからです。

現在の仕事の内容

社会復帰のために福祉的な支援を必要とする犯罪を起こした高齢及び障害者に対し、地域の関係機関等と連携・協働して、地域生活に定着できるよう相談支援を実施しています。

仕事をするうえで大切にしていること

支援対象者や関係機関等との対話を多く重ね、立場や専門分野等の枠組みを超えて相互に理解しあえる関係づくりを大切に仕事しています。

今後の抱負 (一言メッセージ)

様々な地域課題に対し、県民や関係機関の皆さまと対話を重ね、1つのチームとなって乗り越えていけるよう一生懸命頑張ります。

募集中

生活支援員になりませんか

(日常生活自立支援事業)

高齢者や障害のある方で自分で判断することが困難な方々の市役所や銀行での手続きや支払いのお手伝いを行います。

お仕事の主な内容

具体的な活動は以下のようなものです。

- ・公共料金や病院代の支払いを本人と一緒に(または、代わりに)に行う。
- ・役所や郵便局などで行う手続きの説明や、本人が行う手続きに付き添う。
- ・本人とのコミュニケーションを通じて、相談や要望を聞く。
- ・相談、要望に応じて、本人が自身で判断できるようなアドバイス・情報提供をする。



- 月数回から。
- 毎回1時間～2時間程度のお手伝いです。
- 社会福祉協議会の職員が活動のサポートをします。
- 資格等は特に必要ありません。

※お住いの市町村社協にご相談ください。

児童福祉施設職員への 新型コロナウイルスワクチンの 早期接種について

去る6月28日、沖縄県社会福祉協議会（湧川昌秀会長）の嘉陽孝治常務理事と、沖縄県児童養護協議会（以下、「県児養協」）の上原裕会長は、県に対し「児童福祉施設職員への新型コロナウイルスワクチンの早期接種等にかかる緊急要望」を提出しました。

手交式では、県子ども生活福祉部の宮平道子・子ども福祉統括官が要望書を受け取りました。

上原会長は「児童福祉施設では社会的養育の必要な約三百名の子ども達が生活している。そこで働く職員達が安心して子ども達のケアに当たれるよう1日でも早くワクチンの接種を実現していただきたい」と述べました。また、県児養協の上江洲肇副会長は「施設で生活する子ども達も色々と制約がある中で、楽しく過ごす方法を考えて我慢している。職員のワクチン接種が済めば、安全に子ども達への支援ができる」と施設の現状について報告しました。

これを受けて、宮平統括官からは「児童福祉施設の役割については重々承知しており、その重要性から早期接種が実現するよう県としても検討していきたい」と応えました。

この緊急要望を受け、県ではエッセンシャルワーカーを対象とした広域接種に児童福祉施設の職員を含むなど早急な対応が図られました。

8月14日・15日・16日までに87人の職員が2回目のワクチン接種を受けることができました。

県の迅速な対応に県児養協の上原会長は「早急に対応していただいた県には感謝しかない。職員と児童が安全・安心な生活を送る一助になった」と感謝の言葉を述べました。



▲写真右から県子ども生活福祉部 宮平統括官、県児養協 上原会長、上江洲副会長

第12回 沖縄ねんりんピックを開催します! (スポーツ交流大会・文化交流大会)

沖縄ねんりんピックは、高齢者に適したスポーツ、文化活動等を通じて、生きがいと健康づくりを進め、明るく活力ある長寿社会づくりの促進を目的に開催しています。(主催：沖縄県、沖縄県社会福祉協議会) 今年度は、第12回沖縄ねんりんピックとして、下記のとおり県内各地で競技が実施されます。

★スポーツ交流大会(16種目)

【9月18日～11月28日】

ラージボール卓球 テニス 弓道 剣道 ソフトテニス ソフトボール ペタンク マラソン ゲートボール ソフトバレーボール グラウンド・ゴルフ ダンススポーツ ボウリング サッカー 還暦軟式野球 水泳

★文化交流大会(2種目)

【9月19日・10月14日】

将棋 囲碁



※新型コロナウイルスの感染状況によっては本大会を中止・延期する場合がございます。ご理解・ご協力をお願いします。
※沖縄ねんりんピックの詳細(各競技開催日程等)は、県社協ホームページをご覧ください。



【ホームページアドレス】QRコード
<https://www.okishakyo.or.jp/ikiiki/>

第12回 沖縄ねんりんピックかりゆし美術展 作品募集!!

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会美術展出品作品選考会

主催：沖縄県 社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会

- 募集期間：令和3年9月1日(水)～11月30日(火) 必着
- 出品資格：県内在住で60歳以上のアマチュアの方
- 展示会期：令和4年1月27日(木)～1月30日(日)
- 展示会場：沖縄県立博物館・美術館 企画ギャラリー1・2
- 募集作品6部門：日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真

※新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため中止する場合がありますので、ご理解・ご協力をお願いします。

- 申込書ダウンロードできます。

ホームページアドレス

<https://www.okishakyo.or.jp/ikiiki/>

福祉施設・事業所での苦情受付体制の充実

沖縄県福祉サービス運営適正化委員会

コロナの影響で減ったものとは？

福祉サービスの現場では利用者の利用自粛や事業所による利用制限、事業休止などにより、サービスを利用する機会そのものが減少しています。これにより、福祉サービスに関する苦情発生機会も減り、施設・事業所に寄せられる苦情件数も減少していく傾向にあります。

また、施設・事業所で働く職員は感染対策や細かな連絡・報告などが増え、常に緊張をしいられる環境下で従事しています。そのため利用者や家族とのコミュニケーションに余裕がなくなっているおそれがあります。

さらには、施設で恒例行事として行われてきた各種イベント、家族会の活動なども制限され、利用者が意見を表す機会も減ってきていると

いえます。

感染対策最優先の現状の中で

施設・事業所では新型コロナウイルスのクラスター（集団感染）発生が一番の脅威となります。そのため、利用者や職員の健康と安全確保のために、感染対策が最優先されてきました。

コロナ禍においては、施設・事業所側は利用者に対し感染対策の面から「できること」「できないこと」をはっきりと示し、利用者側も「それならしかならない」と受け入れざるを得ない状況が生まれます。

そうすると、利用者や家族は、何か不満に思っているも、苦情や意見が言えなくなり、その不満が表出しないうま「マグマ」のように心の中にたまっていくことも想定されます。

苦情の減少は福祉サービ

スの満足度が高まったわけではなく、「言いたくても言えなかった」状況を反映しているとも考えられます。

「苦情」は期待と現実のズレから生まれる

苦情は、「こうしてほしい」「これくらいはやってもらわなくては困る」という利用者側の期待に反して、施設・事業所側がサービスを提供できなかつたり、うまく環境や条件がそろわない時に生じてきます。そして、ため込んでいた小さな不満が「怒り」となって爆発したり、対応の遅れによって強い要求を伴う「クレーム」へと発展することもしばしばあります。

コロナ収束後を見据えた苦情受付体制を

ワクチン接種が広く行き渡りコロナ禍の収束が見え

感染対策最優先
さまざまな制限
「非常時」のサービス

コロナ禍



コロナ収束後

不満
ストレス



「日常」のサービス要求
期待と現実のズレ
苦情受付体制の不備

苦情



始めてきたとき、利用者側は、コロナ前の「日常」のサービス提供を期待することでしよう。しかし、施設・事業所側は感染再拡大の懸念から、「非常時」のサービス提供からの切り替えに慎重となる。これが予想されます。そこに苦情発生リスクが高まるものと思われれます。

コロナ禍の間、ずっと我慢してきたストレスとぶつけない不満が苦情発生を契機に表出し、苦情解決をより困難にしていくことも考えられます。

これらを踏まえ、施設・事

業所においてはコロナ禍の今だからこそ苦情受付体制を再点検し、さらなる充実を図ることが求められます。具体的には、利用者やその家族に対し、苦情受付窓口の周知、苦情受付箱や第三者委員の案内を通じて「苦情などを言いやすい」環境を整備することなどが挙げられます。また、利用者とのコミュニケーションを大事にし、「不安や不満、心配に思っていること」について日頃から耳を傾けることで、大きなクレームへ発展するリスクを軽減することが期待できます。

これらを踏まえ、施設・事

業所においてはコロナ禍の今だからこそ苦情受付体制を再点検し、さらなる充実を図ることが求められます。具体的には、利用者やその家族に対し、苦情受付窓口の周知、苦情受付箱や第三者委員の案内を通じて「苦情などを言いやすい」環境を整備することなどが挙げられます。また、利用者とのコミュニケーションを大事にし、「不安や不満、心配に思っていること」について日頃から耳を傾けることで、大きなクレームへ発展するリスクを軽減することが期待できます。

介護講座のご案内 介護実習・普及センター

はじめての介護講座
【一般市民向け】

〔10月6日(水)〕
13時半～16時半

・楽しい食事と介助の基本
・誤嚥予防と正しい食事の姿勢

〔12月22日(水)〕
13時半～15時半

・はじめての福祉用具と住宅改修

定員：各20名

参加費：500円

対象者：一般県民



★講座当日は、動きやすい服装・飲み物・筆記用具等をご準備ください。



本年度(7月開催)
講座の様子



はじめての介護講座



排泄介助の基本を学ぶ



スキルアップ養成講座
【介護従事者向け】

〔10月13日(水)〕

13時半～16時半

・ポジションニングで安楽な姿勢と拘縮予防

〔12月15日(水)〕
13時半～15時半

・福祉用具の基礎知識

定員：各20名

参加費：1000円

対象者：介護従事者(5年以上勤務する有資格者)

※台風の襲来・新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、各講座中**止または延期**になる場合もございますのでホームページにてご確認ください。

お問い合わせ先

沖縄県介護実習・

普及センター

TEL

098-882-1484

FAX

098-882-1486

<https://www.okishakyo.or.jp/kaigozishyu/>

社会福祉ライブラリー
のご紹介

県総合福祉センター東棟

2階にある社会福祉ライブラリーは、社会福祉関連の図書や資料が約1万4千冊所蔵されている社会福祉専門図書館です。また、各種福祉関係資格の試験対策テキストや、子どもも楽しめる絵本も揃えております。ホームページでは蔵書検索機能もありますので、読みたい本が所蔵されているか確認することができます。

ライブラリーでは半期に一度、利用者や県総合福祉センター入居団体の皆様に対して新刊図書の購入希望調査を実施し、蔵書の充実を図っています。所蔵してほしい図書がありましたら、是非お問い合わせください！

貸出冊数は一人5冊以内。貸出日数は2週間以内。開館時間は月曜日～金曜日の9時から17時。休館日は土・日・祝日、毎月第1火曜日(室内整理日)、6月23日(慰霊の日)、12月29日

1月3日(年末年始)、特別整理期間(年間15日以内、日程は決定次第お知らせ)。
本を借りるためには「利用者カード」の登録が必要です。ライブラリーにお越しの際は、住所・氏名が確認できる身分証をご持参ください。また、小学生以下の登録には、保護者の承諾が必要です。皆さまのご利用をお待ちしております！

お問い合わせ先

TEL

098-884-4548

Email

library@okishakyo.or.jp



ふくし&IT

この「ふくし&IT」では、地域福祉を応援する様々な取り組みを紹介いたします！

コロナ禍で普及している「IT」。うまくそれを取り入れ、活動の活性化を図っている「沖縄県聴覚障害児を持つ親の会（会長 野原朝哉）以下、「会」の取組みを紹介します。

ITを活用した取組みのきっかけ

昨年度は新型コロナウイルスの影響により、会のすべての事業が中止や規模縮小、延期となり、県外講師を招いての講演会も開催が厳しい状況でした。

どうにか開催できないかと検討していたところ、（沖縄県社会福祉振興基金）特例助成の承認を受け、オンライン講演会に必要な機材を購入し、ITを活用した実施に挑戦しました。

初の試みの内容や苦慮した点

今回のオンライン講演会は、やることなす事すべてが会にとって初めての試みでした。

講演会では、「聞こえない講師」、会場にも「聞こえない」、「聞こえない方々」が聴講します。そのため、手話通訳者の配置が必須で、「講師の手話を通訳者が音声に換え会場に伝える」、「会場からの質疑等を通訳者が手話に換えて講師等に伝える」という行程が

必要でした。したがって、通常のオンライン講演等よりも機器の設置方法や会場の環境、明るさ等細かな部分の確認を要しました。講師の協力を得て行った事前調整では、それらに加え、通信環境や資料操作、手話通訳の位置や画面配置等入念に確認を行い、当日を迎えました。

講演会は、大きなトラブルもなく、会員をはじめ、学校教諭、放課後等デ

イの先生、医療関係者、補聴器店のスタッフ等幅広く参加をいただき、大盛況で終わることができました。

今後の活動

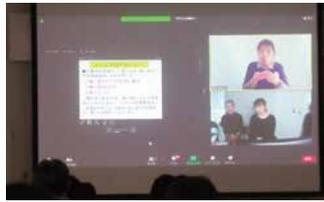
離島にも多くの聞こえない、聞こえない子ども達がいると思います。

今回整備した機器等ITをうまく活用することで、今までの講演会など活動に参加したくてもできなかった離島のご家族の皆さんへ最新情報を届け、ご家族支援（ピアカウンセリング等）を展開し、全国の会議等へ参加していきたくてです。

団体について

・沖縄県聴覚障害児を持つ親の会では、聞こえない、聞こえない子ども達の健やかな成長や保護者の心の安定を願い、年間を通して様々な活動を行っています。

（活動例）総会、全国大会、親子キャンプ、講演会、カヌー体験、クリスマス会等



▲スクリーンに映る「講師」と「手話通訳」（オンライン講演の一場面）

令和3年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の 事故・紛争円満解決のために！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

保険期間1年

▶年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
定員		
1~50名		35,000~61,460円
51~100名		68,270~97,000円
100名以降1名~10名増ごと		1,500円
基本補償(A型) 保険料	+	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 施設職員の補償
- プラン4 社会福祉法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

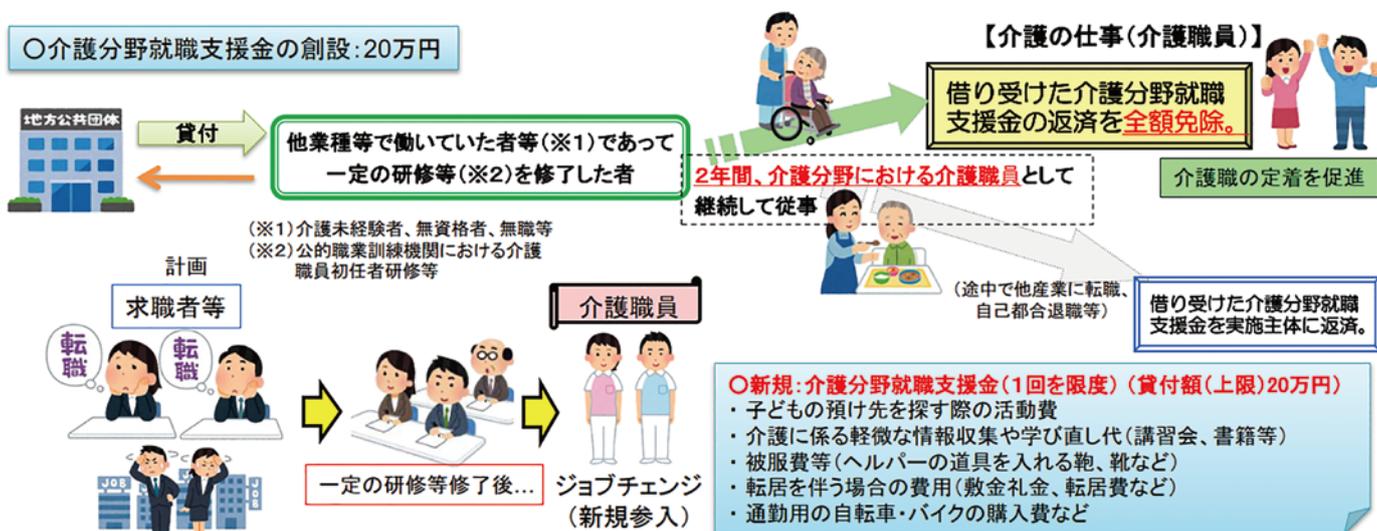
沖縄県社会福祉協議会では、令和3年度の新規貸付事業として、上記事業を実施予定しています。

- ①「介護・障害福祉分野就職支援金貸付事業」は幅広く新たな介護人材を確保する観点から、他業種で働いていた方等の介護分野への参入の促進を目的に創設されます。
- ②「福祉系高校修学資金貸付事業」は、若者の介護分野への参入の促進を目的としています。介護職を目指す福祉系高等学校の生徒を対象に新たに創設されます。

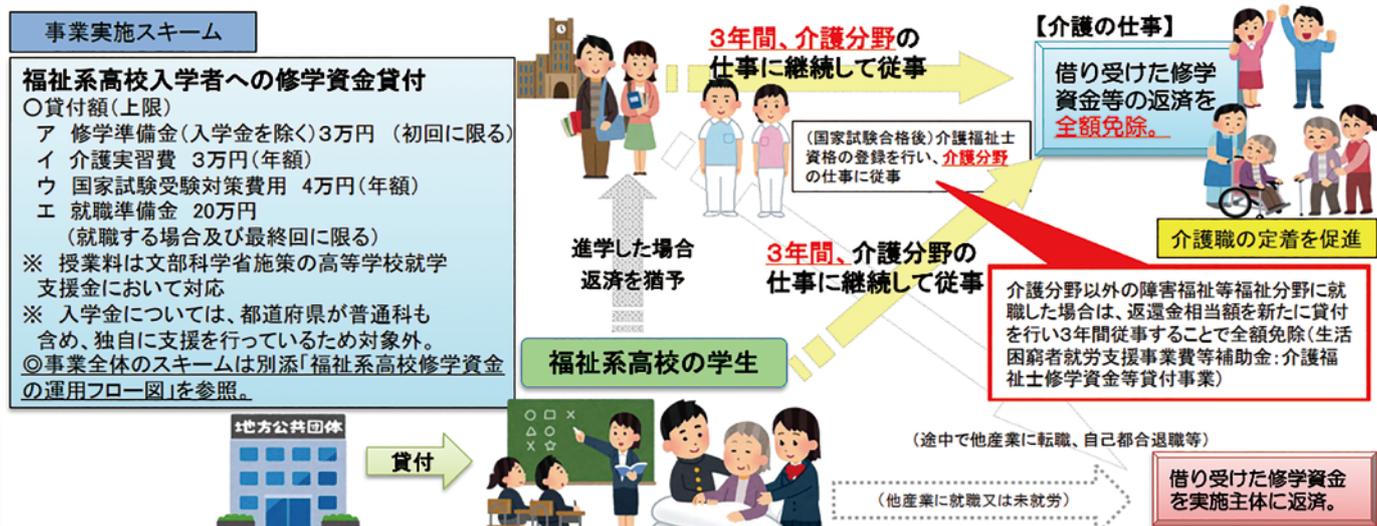
なお、詳細については、制度開始時に、各関係機関等に御案内します。

【お問合せ先】 県福祉人材研修センター（098-882-5703） 貸付事業担当までお問い合わせください。

① 介護・障害福祉分野就職支援金貸付



② 福祉系高校修学資金貸付事業





令和3年度

赤い羽根共同募金運動が始まります

くつなかりをたやさない社会づくり

あなたは一人じゃない

共同募金のはじまりと今日の課題

赤い羽根共同募金は、1947年(昭和22年)に、国民の助け合い運動として始まり、米国の施政権下にあった沖縄では、5年遅れの1952年(昭和27年)にスタートしました。

今日、少子高齢化が急速に進み、地域社会のありようが大きく変化する中で、県内でも、孤立死、ひきこもりなどの社会的孤立や子どもの貧困など、深刻な生活課題が顕在化しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで以上に多くの方々への支援が必要になっております。

今年度集めた募金は、翌年度の福祉活動資金として

今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日から3

月31日までの6カ月間、わたり全国一斉に展開されます。

共同募金は、事前に使いみちや集める額(目標)を定め、計画をたてて行われる募金で、令和3年度は、目標2億8千25万8千円とし、募金運動に取り組めます。

集めた募金は、翌年度助成として、市町村で行われる福祉活動に主に役立てられるほか、市町村の中で解決できない課題については、全県的な福祉事業推進のために使われます。また、募金の3%は災害時にボランティア活動のための準備金として積み立てられます。

みなさまの心あたたまるご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

お問合せ先

沖縄県共同募金会

☎098-882-4353



特定非営利法人マーズ 車両購入事業

福祉施設・団体への活動助成



(福) わらべ保育園 遊具設置事業



北部自立生活センター希輝々 虐待防止セミナー

地域の福祉課題解決のため

共同募金のつかいみち (令和2年度事業)



沖縄県母子寡婦福祉連合会 母と子のつどい



ボランティアさんの一生涯懸命な姿に 勇気と希望をもらいました

災害ボランティア活動の支援のために

こどもの学び育ちを支えるため



私らしいお産を考える会 若年出産者支援事業

りゅうちゃん子どもの希望募金

内定通知書交付式



沖縄県共同募金会では、平成27年度以来、琉球新報社と共催による子どもの貧困・孤立をテーマに取り組んでおり、令和2年度は、募金額が前年度比で943万9千円余りの増となり、過去最高となる1千650万余りの募金が寄せられました。

養護施設等の延べ43団体に助成を内定しました。県共同募金会の湧川会長は、「寄付者の思いが、子どもたちの健やかな成長に寄与すると願っている」とあいさつをのべました。

また、琉球新報社の玻名城泰山社長は「愛情のこもった寄付が子どもたちの希望と未来につながることを願う」とあいさつしました。

	法人団体名	内定額
1	(一社) ビクトリーチャーチ	300,000
2	中の町っ子子ども食堂	300,000
3	学習支援ひろば「くじら寺子屋」	300,000
4	(一社) おきなわジュニア科学クラブ	300,000
5	シオンハウス育成会	300,000
6	すこやか宇栄原っ子	35,000
7	子どもの居場所こばんち	475,000
8	ゆいまーるひろば	500,000
9	(一社) ぽっとらっくハート	500,000
10	(一社) 沖縄ヨガ協会	270,000
11	サンキュウ	305,000
12	名護子ども食堂	500,000
13	コーダー道場名護	500,000
14	松原ふれあい子ども食堂	200,000
15	みんなのあそびば	500,000
16	(一社) みんなのいえ	280,000
17	ボランティアレインボー	500,000
18	非営利活動団体HOPE LOVE	300,000
19	70kitchen (ナオキッチン)	500,000
20	(特非) 沖縄市母子寡婦福祉会	300,000
21	女性を元気にする会	500,000
22	ゆいまーるの会	500,000
23	地域むすびくらぶ	500,000
24	(特非) サポートセンターゆめさき	206,000
25	(特非) 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい	300,000
26	沖縄市八重島自治会	500,000
27	(特非) 子どもシェルターおきなわ	300,000
28	(一社) 宮古島子どもこそだてワクワク未来会議	500,000
29	(特非) こども家庭リソースセンター沖縄	500,000
30	(特非) 子育てサポートやいま	370,000
31	(福) 児童養護施設なごみ	100,000
32	(福) 児童養護施設美さと児童園	250,000
33	(福) 児童養護施設沖縄県立石嶺児童園	450,000
34	(福) 児童養護施設愛隣園	50,000
35	(福) 児童養護施設島添の丘	400,000
36	(福) 児童養護施設青雲寮	100,000
37	(福) 児童養護施設漲水学園	50,000
38	(福) 児童養護施設ならさ	100,000
39	(一社) 沖縄県里親会	500,000
40	(公社) 沖縄県母子寡婦福祉連合会	500,000
41	(一社) おきなわ子ども未来ネットワーク	500,000
42	(一社) TAKE-OFF	500,000
43	(特非) にじのはしファン	500,000
合計		15,341,000

●募集期間

2021年7月12日(月)から2021年12月31日(金)まで

●支援金受入口座

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
三井住友銀行	東京公務部	(普)0162585	(福)中央共同募金会
クレジットカードやコンビニでのご寄付も可能 <赤い羽根災害>で検索>			

※ボラサポに対するご寄付は、特定公益増進法人に対する寄付として所得税、法人税の優遇の対象となります。



▲内定通知書交付式の様子



令和3年7月1日からの大雨の災害に伴うボランティア・NPO活動サポート募金

(ボラサポ・令和3年7月豪雨)へのご寄付のお願い



令和3年7月1日からの大雨によって、全国各地で被害が発生し、「災害ボランティアセンター」等が設置され、住民同士のたすけあいによるボランティア活動が開始されています。

被災地域内のボランティアグループやNPOによる支援活動を応援する「支える人を支える」ための支援金へのご協力をお願いします。

社会福祉ライブラリーから

本の紹介

社会的処方

孤立という病を地域のつながりで治す方法



著者:西智弘 編著
出版社:学芸出版社

認知症・うつ病・運動不足による各種疾患…。医療をめぐるさまざまな問題の最上流には近年深まる「社会的孤立」があります。従来の医療の枠組みでは対処が難しい問題に対し、薬では

なく「地域での人のつながり」を処方する「社会的処方」。制度として導入したイギリスでは、釣りや編み物の集まりに参加した高齢者がうつ病から脱した例もあります。本書では、イギリスの事例と、日本各地で始まった仕組みづくりの取組を紹介しています。市民ひとりひとりの活動が誰かの「お薬」になるかもしれません。本書を読んで、社会的処方の「タネ」を探しにあなたもまちに飛び出してみませんか！

※本会への寄付については、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは総務企画部まで

- 株式会社 モダンプロジェ
- 奥村啓子 様
- ドリーム財団 様



▲株式会社沖縄県物産公社様(7.20)

【写真左から2人目】株式会社沖縄県物産公社
代表取締役社長 比嘉 徹 様

【写真左から1人目】株式会社沖縄県物産公社
商品開発室 室長 赤嶺 貴子 様

【写真右から2人目】本会 会長 湧川 昌秀

【写真右から1人目】本会 常務理事 嘉陽 孝治



▲沖縄明治乳業株式会社様(7.27)

【写真左から2人目】沖縄明治乳業株式会社
代表取締役社長 村田 紳 様

【写真左から1人目】沖縄明治乳業株式会社
企画課 課長 棚原 道子 様

【写真右から2人目】本会 会長 湧川 昌秀

【写真右から1人目】本会 常務理事 嘉陽 孝治



編集後記
今号は、新人職員さんの紹介や、初の事業・取組みなど、「新しい」が盛りだくさんの内容となりました。
ワフワフ、ドキドキ、不安など様々な思いを抱いて踏み出す一歩を応援していきたいなと思いました。



▲県社協ホームページトップ画面

本会では、令和2年度から県社協ホームページにて「研修会・大会等」のお申込み専用ページを開設しました。本会主催の研修、催事等はこちらでも案内しますのでご覧下さい。
本会ホームページ
<https://www.okishakyu.or.jp/>

沖縄県社協
「研修会・大会等」の
お申込みページ開設の
お知らせ

盛山造道さん(69)は、定年退職後、かりゆし長寿大学校へ入学しました。そこで入った絵画クラブをきっかけに彫刻を始めました。作品第1号は、「全島獅子舞フェスティバル」へ参加する子ども達へ送った獅子舞。「軽いものを」と依頼され、なんと自己流で作成！木で作られたものとは違い、発泡スチロールで作った獅子舞は軽くなり、とても喜んでもらえたそうです。
彫刻のほかにも工作をしており、主にマーニ※の葉っぱで動物や昆虫など30種類余りの作品(カマキリ・トンボ・犬・象・バッタ等)があるそうです。
趣味が広がり、「友人と競い合いながら上達して」と楽しそうにお話してくださった盛山さんの野性味のある作品です。
※マーニ→クワック(ヤシ科)

表紙の作品

作品名
「いりおもてヤマネコ」



作成者:盛山 造道 さん